



熊田ちづ子

日本共産党港区議会議員

区政報告

2007年11月

No. 73

一 発行 一
日本共産党港区議員団
TEL 3578-2945
連絡先: 東麻布2-3-7
TEL 3583-1402
Eメール kumada@jcp-mi
natokugidan.gr.jp
HP http://www.jcp-mi
natokugidan.gr.jp/

無料生活相談

毎月十二日 夜六時
飯倉福祉会館を予定しています
お気軽にどうぞ。ご連絡をお待ちしています

日本共産党は

実施中止を要求

自民・公明政権が强行した「後期高齢者医療制度」が来年四月から実施されようとしています。党区議団は、負担増など様々な問題がある後期高齢者医療制度の凍結や、大幅な見直しを求めました。

保険料を決めるのも、健診事業や葬祭事業をどうするのかもこれからです。日本共産党は高齢者に負担増と差別医療を持ち込む医療制度の見直しを求める署名にとりくんでいきますので協力ください。

4月から 75歳以上の高齢者医療 年間11万5千円の保険料

問題点の第一は、七十五以上の人たちに給与所得者の扶養家族も含め新たに保険料の徴収が行われることです（東京都の試算表参照）。
第二は、保険料が払えなければ保険証がとりあげられてしまいます。
第三は、診療報酬に病名による包括払いを導入し、医療に制限をもうけることです。
病院が必要な治療をやっても、その回数や内容に関係なく、その病名で一定の額しか支払われませ

後期高齢者医療制度の保険料と国保の保険料の比較

年金収入	後期高齢者医療制度保険料	特別区の国保料	
			増減率
～153万	11,670	10,530	10.8%
～168万	17,438	12,142	43.6%
～193万	40,598	24,944	62.8%
～238万	79,183	50,106	58.0%
～288万	123,490	87,335	41.4%
～約341万	161,940	127,868	26.6%
～約407万	200,390	168,788	18.7%

東京都後期高齢者医療広域連合資料をもとに作成（年額 円）

すこやかちゃんフッ素塗布事業の無料化と年齢拡大

前向きに検討

熊田区議は、今決算委員会で四才の子どもたちを対象に実施している虫歯予防のフッ素塗布の無料化と年齢の拡大を求めました。区

側は、フッ素塗布は歯の健康づくりに関して大変重要である。来年度に向けて、「自己負担の廃止と年齢の拡大」を前向きに検討することを明らかにしました。現在実施しているフッ素予防事業は費用が五百円か



かります。無料化と年齢拡大によってフッ素塗布を受ける子が増え虫歯予防に役立ちます。

ゴミ袋シール値上げ

与党が賛成し可決

中小企業に打撃

今定例会に中小企業や個人商店などが出す、ゴミ袋のシール代を値上げする議案が出されました。二三区の区長会で七月に決定し、二三区の議会でそれぞれ議決した上で来

年四月からの実施となります。党区議団は「経営が厳しい中小企業へさらに追い打ちをかけるような値上げをするべきでない。実施を凍結するべきだ」と主張しました。と

ところが、与党派（自民・公明・フォーラム民主）は、中小企業の厳しい実態を認識しながら、値上げに賛成してしまいました。

妊婦健診

公費負担が拡大

二〇年度から妊婦健診の公費負担の回数や健診項目を増やす方向で検討していることが熊田区議の質問で明らかになりました。

国は、妊婦の公費負担の受診回数を一回に増やすという方針を出し、それを受けて港区も東京都と二三区全体で協議をしてきました。党区議団は公費負担の拡大を求めてきました。区は「東京都全体で実施する方向で協議する」と独自での実施はさけてきました。しかしすでに今年度から台東区と杉並区が四月にさかのぼって公費負担の健診回数を一回に拡大することを決めました。港区も今定例会でやつと二〇年度実施の方向を明らかにしました。



アスベスト隠ぺいを許さない

要綱を作成

来年六月実施を目途



るものです。

熊田区議は、東麻布一丁目の三菱・竹中工務店の二七階ビル建設現場でアスベストが発見された問題に関連して、隠ぺいなどを許さないための要綱をつくるよう提案。区は、隠蔽を防ぐ目的で、「新たに要綱をつくる」ことを明らかにしました。今年度中に検討作業を行い、施行は〇八年六月頃です。

身勝手さに憤りを禁じ得ません。

三菱・竹中の東麻布工事の問題点は、アスベストがあったにもかかわらず、「付着物なし」と事前届け出。アスベストの解体時に必要な都の環境確保条例に基づく「石綿飛散防止方法等計画書」と労働安全衛生法・石綿障害予防規則に基づく届け出を提出せず、飛散防止の対策なしに解体工事を行ったことです。住民の訴えで、区も東京都や労働基準監督署と連携して調査を行っています。

三菱・竹中の東麻布工事の問題点は、アスベストがあったにもかかわらず、「付着物なし」と事前届け出。アスベストの解体時に必要な都の環境確保条例に基づく「石綿飛散防止方法等計画書」と労働安全衛生法・石綿障害予防規則に基づく届け出を提出せず、飛散防止の対策なしに解体工事を行ったことです。住民の訴えで、区も東京都や労働基準監督署と連携して調査を行っています。

東麻布保育室開設

待機児童の解消に一役

党区議団は待機児童解消問題で、旧飯倉小学校跡地を活用した保育園を開設するよう求めてきました。こうした提案が実現し、〇月二二日より「東麻布保育室」としてスタートしました。〇歳児、一歳児、二歳児の待機児童は多く、引き続き保育所の整備は急がれます。

しました」とほっとした表情で話していました。

十一月から職場復帰するというお母さんは、「本当に入れてうれしいです。〇歳児は希望者が多いと聞いていましたので、区役所に何度も電話



「一〇メモ」今回発見されたのは、アスベスト（石綿＝天然の鉱物繊維）の中でも毒性の強い、アモサイトという種類。一九九五年に使用も製造も禁止。繊維を吸い込むと二〇年～四〇年の潜伏期間を経て、肺ガン、中皮腫などの原因に。静かなる時限爆弾の別称も。

【議会傍聴記】

先日東麻布でのアスベスト飛散問題が取り上げられるというので、議会を傍聴した、区民にとってこれは優先順位の高い問題だ。アスベストを使った建物を使った建物が解体ラッシュのこの時期、対策無しでは住民は知らぬ間に大量のアスベストを吸い込んでしまう危険があるからだ。熊田議員は再質問までして、虚偽申請を防ぐ実行

「ちいばす」の無料乗車券支給拡大 七十才以上・妊娠婦・難病の方にも

十月一日から、「コミュニティバス「ちいばす」」の無料乗車券が、七十才以上の方（シルバーパスを持つていない方）や妊娠婦などにも支給されることになりました。

このことは、党区議団が、シルバーパスを持つていない七十才以上の方などにも無料乗車券を支給するように提案してきたことが実ったもので

障害者の社会参加のひとつとして働く場の確保は大事です。地下鉄浅草大門駅の改札口付近に、NPO法人みなと障がい者福祉事業団の売店ができ、コーヒーなど、その場でつくったパンを販売します。

熊田区議は、「事業が軌道に乗るまでは、必要な人件費（ジョブコーチ）などの支援を継続する

大門駅に、 障害者が運営するお店が



こと」を求めました。来年三月オープン予定です。